

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	A-453						
評価技術名称					連絡先	http://www.								
部分開口 構造用合板補強工法					〒									
真壁「長押」裏棧なし					電話	Fax								
概要	技術概要					真壁で梁及び土台と面材が接合されていない構造用合板補強。 床天井間のみを構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴					コスト								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>天井・床・長押・付鴨居を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。</li> <li>壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。</li> <li>一般流通品なので取り扱いが容易。</li> </ul>					サンプル構面		19,302 円/kN						
	設計見積り例					—								
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関									
機関名					名古屋工業大学									
評価番号					その他									
評価取得日														
仕様	適用範囲					写真・図								
	構法	木造在来軸組工法				<p>部分開口  <math>a+b \leq 370\text{mm}</math>  <math>c \leq 200\text{mm}</math>                      それぞれの                      構造用合板高さ                      400mm 以上</p> <p>四方受材は                      正面から見て                      40mm</p> <p>厚 12                      @100</p> <p>600 ≤ W ≤ 1000</p> <p>真壁 裏棧なし</p>								
	規模	3階建て以下												
	基礎、地盤	特になし												
	適用部位	内外壁												
	その他	特になし												
	主要構成部材の仕様					構造用合板 厚 12mm 以上								
	釘 N50、CN50 @100 以下					間柱、上下受材なし、四方受材(縦のみ)あり								
	耐震性能					評価仕様: 真壁仕様								
	壁基準耐力		壁基準剛性			2.6kN/m					365kN/rad./m			
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.5$					壁基準耐力 $5.2 \times 0.5 = 2.6$									
設計方法					①柱接合部による低減 取付部分が健全であること									
					②劣化による低減 取付部分が健全であること									
施工者指定					構造用合板 厚 12mm 以上									
特になし					釘 N50、CN50 @100mm 以下									
					川の字打ち、									
					四方受材 30×40mm 以上									
					釘 N75 @150mm 以下									
					または N90 @200mm 以下									
その他														